

シンポジウム開催の準備にあたって

昨年にひきつづき第9回のプログラミングシンポジウムが開かれるわけであるが、前回と同様に宿題研究を準備し、それを中心にスケジュールを編成した。今回の題目としては、

数式処理

プログラミングにおける誤まり

をとりあげたのであるが、このいずれにも多くの関心が寄せられたことは、報告集に見られるとおりである。また、パネル討論も1つの山として重点を置き、「ディスプレイ」を話題にする予定であったが、残念ながら種々の都合からパネル討論としてはまとめるにいたらなかった。この他、総合報告としては、「ファイル」の問題をとりあげた。

例年どおり活発な討議が重ねられ稔り多い成果が得られるようにできるだけ準備をととのえるつもりではあるが、参加者各位の積極的な御支援をいただきたい。

1967年12月20日

幹事長	浦	昭	二
幹事	有	山	正
〃	戸	田	英
〃	永	坂	秀
〃	藤	野	喜
〃	吉	沢	正
〃	米	田	信
			夫

本 PDF ファイルは 1968 年発行の「第 9 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>